

総計審第 6 号  
令和2年11月5日

高浜町長 野瀬 豊 殿

高浜町総合計画審議会  
会長 田中 康隆



### 高浜町総合計画の答申について

令和元年12月18日付け高政第501号で諮問のありました高浜町総合計画(基本構想及び基本計画)について、当審議会として慎重かつ活発に審議を重ねた結果、別添のとおり答申致します。

なお、本計画の推進にあたっては、審議過程での意見等を十分に尊重するとともに、下記事項にも十分配慮されるよう要望します。

#### 記

#### 1. まちの将来像の共有と協働のまちづくりの推進について

まちの将来像を住民、行政、事業者等で共有できるようわかりやすく周知するとともに、人や地域が多様につながり合い、暮らしの安心感や住み心地の良さ、生活の豊かさが実感できる持続可能な地域としていくため、多様な行動主体の連携・協力による協働の取り組みが促進されるよう努めること。

#### 2. 持続可能な地域社会への転換について

人口減少をはじめ、デジタル技術の革新、大規模災害や感染症等のリスク、原子力発電所の廃炉など、町を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、新しい技術の活用や時代に対応した暮らし方・働き方の追求、リスクに対する強靱性の向上など、持続可能な地域社会への転換を推進し、将来にわたって、高浜町での暮らしにひとつ先の豊かさを感じられるよう的確な施策の推進に努めること。

#### 3. 総合計画の着実な推進と情報発信について

本計画の推進にあたっては、より実効性の高い施策展開を図るため、施策の点検・評価を踏まえた改善・見直しを行うPDCAサイクルによる計画の進行管理に努めるとともに、取り組みの成果や課題等を町民に分かりやすい形で広報・情報発信を行うこと。

#### 4. 持続可能な行財政運営について

施策の選択と集中や広域連携の推進、公共施設等の長寿命化と有効活用など、行財政改革の着実な実行に努めるとともに、人口減少や原子力発電所の廃炉を見据えた行財政のダウンサイジングに重点を置いた、将来にわたって持続可能な行財政運営を図ること。

以上

